

博物館 topics

**10・10空襲70周年記念 『那覇のまつりと10・10空襲』**

70年前の1944年(昭和19年)10月10日、当時の那覇は、市街地を中心に激しい空襲に見舞われました。いわゆる10・10空襲です。知念村(現南城市知念)の東方海上約280kmの地点に、米海軍航空母艦など100隻余りが集結し艦載機が飛び立ちました。米軍の攻撃は、小禄飛行場や那覇港を皮切りに、午前7時から午後5時過ぎまで5回にわたり行われ、延べ1396機が出撃しました。空爆での被害は死者255人、負傷者358人、さら



▲空爆する米軍グラマン戦闘機

この空襲で、多くの市民が本島北部などへ避難し、那覇へ戻ることなく、そのまま沖縄戦に巻き込まれた方もいました。市民にとっては、いち早く「戦争」を実感した空襲でした。

10・10空襲・沖縄戦を経て、那覇市は瓦礫の中からの復興をスタートしました。那覇の三大まつりといわれた「ジュリ馬」・「綱挽」・「ハリー」も、「ジュリ馬」(1953年、現・旧二十日正月祭り)、「那覇大綱挽」(1971年、「那覇ハリー」(1975年)と復活し、現在も毎年恒例の行事として行われています。特に、1971年の市制施行50周年記念事業として企画された大綱挽の復活は、空襲のあった10月10日(当時・体育の日)に開催されました。平良良松那覇市長(当時)は、「那覇の街が瓦礫となり、戦前のゆかしい街並みが一瞬のうちに消えた。市民にとっては苦しい思い出の日であり、忘れることはできない。しかしまた、この日は那覇再建の日にしてもおかしくない」として、那覇最大のまつりを実施しました。



▲炎上する那覇港方面

**国宝 尚家衣裳 10月の特別展示**  
 期 10月3日(金)~10月29日(水)  
 費 一般 300円

那覇市歴史博物館  
 那覇の歴史・文化を体験

開館時間 10時~19時 木曜休館 ☎ 869-5266

**那覇市立壺屋焼物博物館イベント情報**

**現代沖縄陶工展「島武己」~己宙南蛮~**

島武己氏は日本を代表する21名の陶芸家を紹介した図書「陶21」でも紹介された沖縄の陶芸家です。26歳の頃世界的な陶磁学者で優れた陶芸家でもあった小山富士夫氏と出会い、その後同氏の紹介により日本各地の古窯を見聞。37歳で中城村に中城古窯研究所を、62歳になって故郷の本部町に阿弥陀城古窯を開窯し現在も活躍中です。

島氏は焼き上がった作品を磨くという独特の技法で、陶器の内面に潜む色や表情をも引き出します。自身の追求する色や線を焼き締め陶器の世界で表現する陶芸家です。現在、島氏の展示会を佐喜真美術館と合同で開催中(開催期間は異なります)。当館では器を中心に島氏の作陶人生を回顧。佐喜真美術館ではオブジェを中心に展示しています。ぜひご覧ください。



▲島武己作「花生」



▲島武己作「くい呑」

開催中~10月19日(日) 場 3階 企画展示室 費 無料  
 【関連イベント】「アーティストトーク」※島武己氏による講演会  
 日 10月5日(日) 午後2時から  
 定 50名程度 申 不要 費 無料

**学芸員と展示を見よう~常設展ギャラリートーク~**

日 10月19日(日) 午前10時から1時間程度  
 費 常設展の観覧料が必要です(市内の小・中・高校生は無料)  
 申 不要。当日、博物館1階受付前に集合して下さい。

**臨時休館のお知らせ**

特別展にともなう展示入替のため、臨時休館させていただきます。

期 10月20日(月)~31日(金)



開館時間 10時~18時(入館は17時半まで) ☎ 862-3761  
 月曜休館 ※ただし、月曜が祝日の場合は開館 FAX 862-3762

協働さん

いらっしやい!



市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第43回 與座 正夫さん(環境サークル風:代表)

公園・緑地・河川・道路をきれいにする活動をとおして協働大使となった與座正夫さん。ほかに、那覇市スポーツチャンバラ協会会長、那覇市スポンチースポーツクラブ会長、那覇市スポーツ推進員などなど、多くの肩書を持つ活動家です。

10月に開催するひやみかちなはウォークでも、市ウォーキング協会の副会長として大会の運営に関わっています。

那覇でウォーキング大会を開催するにあたり、特に懸念されたのが信号の多さだそう。信号を守ることは当然なのですが、ウォーキングとなると、またちよっと違うようです。「止まりたくないと言った人が、一番困るんですよ」と頭を抱える與座さん。止まる事でダイエットに理想的な心拍数を維持できないという声があるようです。そういう方には、首里の坂を上る19.8キロコース「御城上り」(うぐしくぬびい)がおススメだそうです。なるべ

普段着でも楽しめるウォーキング

く信号を避け、ハードな坂道でダイエット効果が維持できるようです。

與座さんおススメのコースをたずねると「やはり7.8キロコース」とのこと。那覇の日のイベントに合わせて作ったコースで、旧那覇のまちを巡る「大門(うぶじょう)まーい」と小禄を巡る「うるくまーい」。西コースとも旧那覇の歴史をうかがい知ることができ、旧跡表示板の解説を読みながら歩くことができます。

「那覇のウォーキングは信号を待ちながら街並みを楽しみ、あわてず、あせらず、普段の服装で。帰りは買い物も楽しむこともできますね」と、那覇のウォーキングの魅力を教えて頂きました。



お問い合わせ まちづくり協働推進課 ☎ 861-3846

【お問い合わせ】  
 那覇市文化協会 うちなーぐち部会  
 事務局 名嘉山秀信  
 ☎ 090-4347-8798

うちなーぐちや あじくーたー

今月のテーマ  
 みーにし

鷹が多く渡り、来よんやー

新北風ん 吹ちよーい 今から涼くないんどー

【和歌】  
 次郎：今年もサンバの大群が越冬のために飛んできていぬね。  
 次郎：そうだね。この前、新北風が吹いたし、これから徐々に涼くなるよ。  
 太郎：沖縄も夏が終わって、秋が訪れるね。

【説明文】  
 「寒風」のころ(10月8日前後)になると、今までの蒸し暑い南風にかわって、熱帯夜(熱帯日)を中断する、さわやかな涼しい北風が吹きこんできます。この北風は昔から「みーにし」(新北風)と呼ばれています。  
 この「みーにし」に乗り、越冬のためフィリピン方面に渡っていく中型のタカ科「サンバ」の大群の姿が、この頃になると、宮古島をはじめ沖縄諸島上空で見られます。新北風はメートル以上の風で沖縄に夏の終わりと秋のはじまりを告げる風です。去年の新北風は十月十六日でした。  
 【例文】  
 太郎：鷹が冬越すんでい 今度ん多く渡りて来よんやー  
 次郎：やんやー 今前、新北風ん吹ちよーい 今から涼くないんどー  
 太郎：だんだん涼くないんどー  
 太郎：沖縄も夏ん終わって、秋ないさやー。

**交通事故 相続 離婚 借金問題・過払金返還請求**

相談して「良かった」という声を多数頂いております!!

ご相談は何度でも**無料**

代表社員弁護士 岡野 浩巳 当事務所は、企業法務にも力を入れておりますので、経営者の方もご相談ください。

～明日のためにできること、今あなたとともに。～

弁護士 法人 **岡野法律事務所** はいさい那覇支店 安本 良太

フリーダイヤル ☎ **0120-55-7840**

〒900-0023 沖縄県那覇市楚辺1丁目5番17号 プロフェスビル那覇2階  
<http://www.okano-okinawa.jp/> 岡野法律事務所 那覇 検索

女性秘書が丁寧に対応させていただきます

広告